

## 美術工芸部門

大江長夫

文化協会の本流は縦の組織で本部と各支部の活動を基本としています。部門別の活動は、趣を同じくする者を分類して六部門に分けて活動を進めています。これは各支部間の横のつながりを大切にして、より一層の交流を図り、五つのまちの一体化に結びつきたい狙いで組織されました。

私たちが美術・工芸部門では、美術部会、工芸（Ⅰ）部会、工芸（Ⅱ）部会の三部会で交流と研鑽につとめお互いに努力を重ねております。

現在は交流の場として「二十一世紀館さんがわ」で部会毎に作品展を催していますが、部門全体での作品展は会場が狭いため、開催出来ないのが現状で将来は文化会館等が望まれます。今年度開催された作品展は、



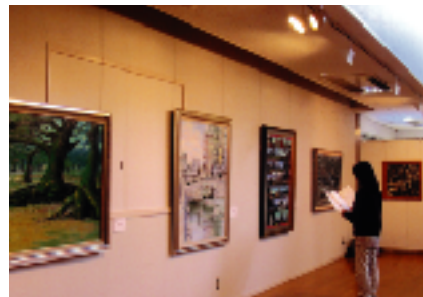
▲さぬき市写真同好会

絵画「洋画」展、工芸Ⅰ「陶芸、漆芸、金工、木竹工」展、工芸Ⅱ手作り彩りの会「パッチワーク、草木染、絵手紙、押し花、アメリカンフラワー、木目込人形、石膏粘土、ちぎり絵、ドライフラワー・・・」展、水墨墨彩画展、又今年初めて開催されたものは、日本画展、写真展が行なわれました。次年度も作品展を予定しておりますので多数の方々の来場をお待ちしております。作品に対するご指導も合わせてお願い致します。

特別展の開催に協力

### 「珠玉の作品とさぬき」

香川県文化会館所蔵品展 県文化会館所蔵品展の開催に当り私も文化協会及び美術工芸部門も協力をしてまいりました。展示作品の選定に当りましては実行委員会顧問の先生方から選んでいただき、各分野における日本を代表する作品を一同に集めた展示はすばらしい展覧会となりました。ご協力いただいた会員の皆様に厚くお礼申し上げます。今後、よろしくご指導の程お願い致します。



▲特別展「珠玉の作品とさぬき」

## 美術部会

黒田幸一

十六年度、美術部門展覧会は四月春の絵画展、九月日本画展が開催され会員の皆様の力作ぞろい、あざやかな色彩とうるおいを与えてくれた展覧会であつたと思います。

書道はグループ展で盛んに発表していますが、全体としての展覧会がまだでした。役員会員の皆様の努力によつて十八年一月に開催予定となり、楽しみにしたいと思います。

水墨・墨彩画展は十七年三月に予定しています。会員の皆様は、合同展、グループ展にと意欲的に製作、発表にと頑張っています。今後期待したいと思っています。

さぬき市は東瀛の文化の中心になる様に、努力していきたいものです。

## 工芸Ⅰ部会

### 第二回展について

川田和雄

今回は待望の全員出品の目標が達成出来これぞ文化協会の掲げる理想の思いがけない大変うれしい発表展示となりました。一年間の成果は目を見張る物があり、楽しみながらの創作こそ前回に優る観覧者を集めました。展示にも個性があり楽しい発表であつたと思います。今回は会員一名の遺作を展示、見学者の一人が、作者は亡くなったが、作品の恵比須様が笑っていると故人を偲んでいました。

又各単位が自分で発表を行う等活発な活動をされました。十七年は六月二十一日から七月三日迄行ないます。楽しみの創作大いに期待されています。全員の出品展示ができるようがんばりましょう。

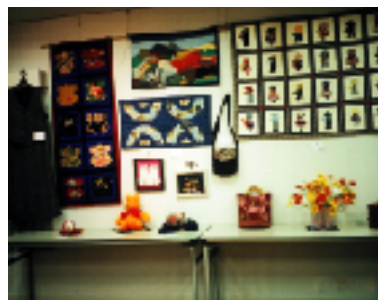


▲工芸Ⅰ部会展

## 工芸Ⅱ部会

手作り彩りの会

松原シゲ子



▲手作り彩りの会展

手作り彩りの会は、アメリカンフラワー、絵手紙、押し花、木目込人形、草木染、石膏粘土、ちぎり絵、ドライフラワー、パッチワーク等たくさんさんのサークルがあります。手作り大好きな仲間達です。

形、色、素材、構図等を考え世界にひとつしかない自分だけの物を創り出す喜びに浸っています。簡単な物から技術や時間を要するものなど多彩です。色色考える細かい作業は、脳を活性化する利点もついてきます。多くの同好者との出会いや、出来上がった作品を批評しながらの談笑も楽しみです。

心を込めた手作りの作品は、見る人にぬくもりが伝わり、ひとときの安らぎを味わっていただけではないでしょうか。ぜひ作品展をご覧ください。